

第64回茂原市

花いっぱい

コンクール

参加者募集

花と緑のあふれるまちづくりをめざして行っている花の審査会です。参加費は無料。お気軽にご参加ください！

◆参加資格

- 花を育てている①～③のいずれかに該当する方
- ①市内に居住している個人
- ②市内で事業を営んでいる企業（花の小売業、卸売業および造園業並びにこれらに類する事業を営む企業を除く）。
- ③市内で活動している団体

◆審査日程

春（4月中旬頃）と秋（9月下旬頃）の年2回

※申込書の書類審査と2回の現地審査の結果により、部門ごとに成績優秀な参加者を表彰するほか、参加者全員に参加賞を用意しています。

◆申込締切 3月23日①

今年のコンクール結果



団体の部 最優秀賞
新八幡原川沿い花畑グループ様（八幡原）



一般家庭の部 最優秀賞
加藤和夫様（東茂原）

お申込み・お問い合わせは、
環境保全課（6階）
TEL 1504、FAX 1604へ。

市長が行く

No.68

茂原市公共施設白書について

茂原市長 田中豊彦



このたび、茂原市では「茂原市公共施設白書」を作成し、市民の皆さまと共に今後の公共施設の在り方について、検討していくことになりました。

かつて茂原市では、高度成長期からの社会の変化や、本納町との合併などによる人口の増加に伴い、多くの公共施設を整備してきました。しかし、これらの内、築40年以上の公共建築物が全体の32%、築30年以上40年未満のものが全体の31%となっており、老朽化が進み、今まさに改築や大規模な改修が必要な時期を迎えています。

その一方で、人口の減少はどんどん進行し、2000年に9万3779人だった茂原市の人口も、2040年には7万2519人にまで減少するということが推計されています。人口の減少は、市税収入の減少につながりますが、それと反比例するかのよう

に、茂原市公共施設白書の作成しました。

今後の、検討委員会を立ち上げ、市民の皆さまの参加のもと、「茂原市公共施設等総合管理計画」を策定し、時代に適応した公共施設サービス

の提供を目指していこうと考えています。先月、この欄で市民会館の改築あるいは新築に触れました。今のこの状態では、可能ではないかと考える方もいらっしゃると思いますが、創意と工夫を重ねれば、出来ないことはないと思っております。そのことも含め、市民の皆さまの多くのご意見をお寄せいただきたく、よろしく

お願いいたします。



▲老朽化が進む公共施設